

新基地建設反対名護共同センター ニュース

4・1 県民大行動に県内各地から参加

県議会・平和外交求め意見書可決



瀬長美佐雄 県議

4月1日、辺野古新基地建設に反対するシユウブゲート前辺野古県民大行動が行われ、約650人が県内各地から参加しました。高里鈴代オール沖縄会議共同代表の挨拶で開会し、国会議員、県議会議員、各島ぐるみ会議、PFAS 汚染からいのちを守る連絡会、辺野古請願署名を訴える摩文仁からの行進団などが挨拶しました。

4月1日は、七八年前の沖縄戦で米軍が沖縄本島に上陸した日に当たりオール沖縄会議の高里鈴代共同代表は、南西諸島に自衛隊基地やミサイル配備が推し進められる現状に触れ、七八年前に亡くなった方々を追悼するだけではなく、新たな基地を造らせないという思いをさらに強く訴え続けていこうと挨拶しました。

集会の中で瀬長美佐雄県議は、沖縄県議会で、沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書を賛成多数で可決したと報告し、安保関連3文書に反対の県民意思を示すことができたこと述べました。

沖縄で全国各地の高校生が学び、交流



三月二七日から沖縄で高校生平和集会在開催され、埼玉、東京、神奈川、愛知、広島、沖縄から八〇名の中・高校生や大人が参加した。

南部戦跡を巡って沖縄戦について学び、普天間基地や嘉手納基地を見学し、辺野古で新基地建設工事が強行されている現場をみた。伊江島では又チドウタカラの家を見学、LCT爆発事故についても学習した。最終日には県庁前で核兵器廃絶を求め署名活動を行った。

東京のSさん(中三)は「座り込みを生で初めてみて圧倒されました。毎日毎日最後には追い返されるとわかってるのに座り込みを続けて、沖縄の民意を態度で示すというのは本当にすごいことだと思いました」と語った。沖縄のUさん(高二)は「参加者に沖縄戦と基地問題について知ってもらい、自分たちの問題として受け止めてもらえた。これからも伝えていくために頑張りたい」と語った。

この沖縄集会以で学んだ思いを「寄せ書き」にして玉城知事に届けた。「友情と学びこそ平和のための抑止力」「平和の武器は学ぶこと」「沖縄での学びをこれからにつなげ、声をあげていきます」「共に永久平和を!」。集会アピールは「戦捨てていしけーんかい 肝がなさそう みるく世(戦争を捨てて世界に愛と平和を!)」とよびかけている。

高校生平和ゼミナール全国連絡センター

沖村民雄

教育現場への自衛隊の職業体験・紹介等の中止を! 新婦人が沖縄県教育庁と名護市議会に要請

教育現場での自衛隊の職業体験・紹介などの中止を求めて新婦人沖縄県本部と新婦人名護支部が沖縄県教育庁と名護市議会へ要請・請願行動をおこないました。

今年1月14日に名護市立東江小学校で、職場体験・紹介授業が行われましたが、その際自衛隊が参加して、迷彩服着用体験やミサイルの発射訓練の映像を流すなどをしました。当日は授業参観の日で保護者から驚きや疑問の声が上がりました。

自衛隊をめぐる今日状況は、賛否が渦巻いており、平和な社会を育てるという教育上理念からも今回の事態は大いに懸念されるものです。引き続き、監視を強めていきます。

島々を戦場にさせない



安里・大道・松川島ぐるみの会

私たち「安里・大道・松川島ぐるみの会」は、毎週月曜日の午前8時から三分間、安里十字路でスタンディングをしています。この地域は沖縄戦と深くかかわっているところで日米攻防の激戦地「シュガローフ」をはじめ多くの戦跡がある。

「アニー知事を支え、辺野古新基地ストップ」の旗印を掲げたスタンディングは二〇一六年九月から六年目を超えました。沖縄戦で「鉄血勤皇隊」にも動員された九〇代の方もふくめ参加者は二〇名から二五名。手作りのボードをもって市民にアピールしています。節目の回には「オール沖縄」の国会議員、県議、市議も参加、また安里にある法華経寺のお坊さんたちも「命に合掌」の幟をもって参加してくれました。岸田政権が南西諸島にミサイルを配備し、米軍と一緒に戦争をしかけようとしている今、「島々を戦場にさせない」という決意を固め、「勝つためにはあきらめないこと」を合言葉に、私たちは立ち続けます。

会場 琉球新報ホール
四月二二日十三時半(開場)
一四〜一六時半

辺野古裁判と誇りある沖縄の自治

―裁判の今とこれから―